



# 伊方原発再稼働容認撤回求める 知事・四国電力の言い分紹介に終始

## 電力ひっ迫時でも 供給は十分可能

● 代表質問に立ち、知事の伊方原発再稼働「やむなし」

の理由は成り立たないことを示し、撤回を求めました。

● 火力発電トラブル停止時でも地域間連携での広域運用での供給責任が各電力会社に課せられ、関西電力と140万kW、中国電力120万kWの連携、融通ができるとの指摘には「四国電力が供給する電力は四国電力で供給力を確保する必要があるとの説明をうけております」

● 随時調整契約をしている電力が35万kWあるので、もし火力停止してもこれを使えると



の指摘には「これまで四国電力は実施したことがなく…瞬時の電力ひっ迫対策としては一定の限界があるとお聞きしています」

● 最大ピーク需要に近くなる年22時間を、デマンドレスポンスという契約で対応すれば平準化され燃料代も26億円削減できるとの指摘には「現状で直ちに節電効果をもたらすものではないものと認識しております」

● 第2問で、随時契約やデマンドレスポンスの可能性を四電との「勉強会」で指摘したのかと問うと「今まで聞いてなくて、今度新しくお話を伺わせて頂いた」と私の質問で初めて知った事が判明。四電との勉強会を「四電の広報の場」とさせてはならず、専門家を交えての対策チームを持つべきです。

## ● 保育園落ちたの私だ

目黒区在住の娘佳子。議員活動に復帰するため生後4カ月のわが子の入園申請。が却下。「女性が輝く社会」「一億総活躍」の安倍政権に抗議の3・5「保育園落ちたの私だ」国会正門前ス



キラリンにゃんでも通信

育園落ちたの私だ」国会正門前ス  
タンディングを田村智子参議や  
多くの母親と行った写真。高知市  
でも120名が入れず待機中!